



折りづる作業所のお手伝い

西区南観音女性会 脇本 則子

折りづる作業所で行われる「光と風のまつり」で野菜売り場を第2回より南観音女性会が担当しています。いろいろな新鮮野菜、果物、調味料、施設長自らが育てた野菜や花の苗など、フロア1面に並びます。毎年とても人気で、大勢のリピーターで賑わいます。

野菜の食べ方や保存方法など、主婦ならではの得意分野を発揮し、とても喜ばれます。お客さんから教えられることもあり、楽しいひと時を過ごします。今年は施設長さんより「この売り場は安心です。」とお言葉をいただき、信頼されているのだなと大変嬉しく思いました。これからも女性会仲間と共に長く続けられるようにと深く心に刻みました。



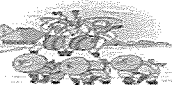
縁の下の力持ち

佐伯区河内女性会 若澤 瑞枝

今年度も4月のゴキブリ団子作りから活動が始まりました。5月にはEM菌入り石鹸作り、6月には参加者が多く2日に分けての軒の浦と仙酔島の見学をしました。さらに6.29集会（今年は災害記録の碑の除幕式が盛大に執り行われました）もあり、7月には2泊3日のこうちっ子体験スクールで小学生と食事作りをしました。

8月からは盆踊り大会、敬老会、町民運動会と続き、年度末のグランドゴルフ大会まで、毎月のように開催される行事にも女性会として積極的に参加し、準備から運営までのお手伝いを会員力をあわせて行っていこうと思います。

これからも女性会の活動の目的でもある、女性の教養を高め、家庭生活に役立つことや楽しい情報を発信しながら、地域の行事に積極的に参加し、女性会の力を発揮できればと考えております。



安の花田植に参加して

安佐南区安女性会 竹内 禮子

女性会は、47年ぶりに再現された大名上覧の大花田植を始まりとする「安の花田植」の伝承に、7年間協賛活動をしています。

この一大イベントでの女性会の役割は、390人分の弁当作りと反省会の準備です。

時節柄痛みにくく、幅広い年齢層に合う料理を考えて、早朝より限られた時間の中で、手際よく腕をふるいます。

「弁当が楽しみのひとつなんよ。」「今年もおいしかった。」と言われると、よかった～と喜び合い、なによりの励みになります。

これからも地域活動を支援することで、女性会会員同士や、地域の皆様とのふれあいを深めたいと思います。



子育て支援活動

東区矢賀女性会 斉藤 芳子

全国指定都市地域女性大会第3分科会に参加をし、子育て支援次世代育成について、女性会が核となり、活動しなければならないと深く感じました。

矢賀女性会は子育て支援の地域活動として、ふれあいパトロール、大型スーパーの巡回、児童の登校下校時の門前挨拶、幼稚園・児童館に於いて昔遊び、ゲーム、工作等で子供達と顔見知りになり、つながりを持つことが出来たと思います。小学校のイベント「ふれあいイン矢賀」への協力でお父さんお母さんとも親しくなることも大切だと思っております。

これからも地域に密着した活動を心がけ、安心安全の町作りに努めるよう頑張りたいと思います。



ふれあい感謝祭に参加して

安佐北区三田女性会 幸田 尚子

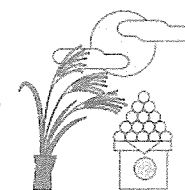
三田女性会では会員相互のふれあいを持ちたいという希望から、感謝祭を始めて今年で7回目を迎えました。7月29日エコについてテクノペレットから講師を招いてEM菌についての勉強会も行い、又ソーメン作り、カフェとフリーマーケット等会員同志のおしゃべり会と有意義な一日を過ごしました。

同じ地域の中にもなかなか出会う事はありませんが、高齢化していく女性会にとっては活気のある一日であったと思います。

編集後記 記録的な猛暑が続く中、快く原稿をお寄せ頂きました皆様に衷心より御礼申し上げます。 佐伯区女性会



きょうちくとう



【編集・発行】広島市地域女性団体連絡協議会
【発行責任者】吉岡 恭子
【編集担当】佐伯区女性会

〒730-0052 広島市中区千田町 1-9-43
電話(082)243-3274 FAX(082)243-3270
ホームページ: http://cyberbb.com/hjd/

第59回全国指定都市地域女性団体連絡協議会研究集会を終えて

広島市地域女性団体連絡協議会 会長 吉岡 恭子

6月7日(木)・8日(金)の両日、「地域力・女性力の再構築をめざして」～輝ける次世代に繋げるために～をメインテーマに掲げ、6指定都市の参加で研究集会を開催しました。多くのご来賓の方々にご臨席を賜り、また会員の皆様や広島市行政の皆様のご協力のもと開催都市の重責を感じながらも無事に終えることができましたことを心よりお礼申し上げます。

基調講演では、湯崎英彦広島県知事を講師としてお迎えし、「子育て応援広島県」のテーマで、県の施策や知事自身の育児休暇(イクメン)についてのお話を伺いました。

環境問題・男女共同参画・青少年育成問題の3つの分科会は、コーディネーター、コメンテーターを中心に、各都市のシンポジストによる発表について参加者全員が、女性団体の果たすべき役割や取組について質疑、協議を重ねました。この研究集会で学んだことを、それぞれが地域で活かせる工夫を考え実践することで、着実に活動成果を上げていくことに期待しております。そして地域社会の発展をめざすための課題解決に一步でも近づくことができると希望しております。

基調講演 湯崎英彦広島県知事による「子育て応援広島県」について

広島市地域女性団体連絡協議会 副会長 林 敬子



知事自ら育児休暇を宣言し、実践された事によって広島県の状況が変化したこと。又、子育てを取り巻く広島県の現状は、人口が減少すると核家族化が進み益々地域の連帯感が希薄になっていく。その結果仕事と育児の両立が難しく退職する女性も多くなり、社会を支える人が更に減ってしまう。若い母親は子育ての経験や知識が少なく、地域の赤ちゃんと触れ合う機会も多くはない。夫は朝家を出たら夜遅く帰る、子供を預ける所がない、そんな中で母親は不安や負担を感じている。

そこで広島県では「みんなで育てる子ども夢プラン」を策定した。女性が就労していくためには職場と家族がサポートする必要がある。安心して子育てができ、子育てを楽しみ、喜び生きがいを感じられるように皆で応援していく為に、さまざまな取り組みをしていく事をパワーポイントを使ってお話し下さいました。

他都市からの参加者にも大好評で、イクメン県知事に絶大なる拍手が送られました。

「平成24年度 広島市女連女性大会」のご案内

今年度の女性大会には「北野大(まさる)氏」を講師としてお招きします。北野大氏は明治大学理工学部教授(専門は環境科学・安全学)で、今回は環境をテーマに講演していただきます。また、昨年度より継続している環境家計簿についての報告もいたします。
※詳しくは、各単位会長にお問い合わせください。

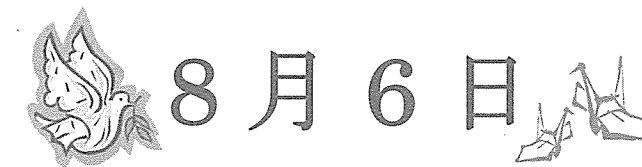
日時 平成24年10月26日(金)
13:00~15:30(終了予定)
場所 アステールプラザ 中ホール
講師 北野大氏
演題 「地球環境を救う
新しいライフスタイルへ」
参加者 広島市女連会員 550名

第59回 全国指定都市地域女性団体連絡協議会

研究集会報告

日時 平成24年6月7日(木)・8日(金)

場所 リーガロイヤルホテル広島



嵐の中の母子像供養に参加して

神崎女性会 徳弘 鈴子

被爆67周年の平和記念日がやって参りました。神崎学区会長他3名での式典に参加後、嵐の中の母子像にお参りさせていただき、母子像をじっとみている内に胸がいたみ、いつの時代も子を思う母の気持ちは変わることなく、ただ目頭が熱くなり感無量でした。

二度と核の戦場にならないように、平和な日々が続く事を祈り被爆者の思いを世界に伝えていく事を念願し、供養に参加致しました。



献灯式に参加して

福木女性会 亘 澤子

8月6日午前中の平和祈念式典の余韻が残る午後8時、平和公園の前、緑地帯において献灯式が行われました。まず吉岡会長が“春日型燈籠”に、平和の灯から採火されたろうそくを献灯されました。その後、参加者全員が“はと型蜀台”にろうそくを灯し、犠牲になられた方の冥福を祈り黙祷しました。暗闇の中に200本のろうそくが赤々とともる火は風に炎が揺れ今にも消えそうになりながら幻想的で美しく、しみじみ今の平和を感じてながめていました。

行く道を照らす、また思い悩んだ時見つめなおす道しるべとして石燈籠は平和公園緑地帯に33基、昭和51年広島信用金庫の御尽力により設置されたということです。機会を作って緑地帯の石燈籠を巡ってみて下さい。

広島県知事へ表敬訪問!



平成24年8月2日(木)、複十字シール運動(結核予防の啓発活動及び募金活動)PRのため、広島市女連正・副会長(写真左側3名)が広島県知事を表敬訪問しました。

第3分科会 「子育て支援・次世代育成」

原田 慧子

テーマ：児童虐待が起こる社会的背景と親の支援

コーディネーター：比治山大学短期大学部

幼児教育課教授 森修也氏

広島市は、児童虐待防止についての研修の結果として、早期発見、早期対応と同時に親への支援も必要である。虐待は表面化しにくいいため、虐待かなと感じたら関係機関に連絡することを学んだと報告しました。

他都市から電話相談、夜間パトロール、ふれあい土曜塾等の活動報告がありました。

意見交換の中で、「核家族化が進み、親が地域で孤立している。早い時期からの声かけや傾聴等の支援が必要である。」という意見が出ました。森コーディネーターが「子育ては親が中心であり、それを社会がいかに支援していくかが重要です。」と述べられました。又、各都市の活動は様々ですが親は失敗をしながら子育てをしていくので、地域の皆で見守り子育て支援に取り組んでほしいとまとめられました。



森



第3分科会に参加して

本川女性会 田中 八重子

大会に参加したのは6都市ですが、「どちらの活動に対しての悩みは同類で大差はないのですね。」と話しておりました。電話相談を行っておられる都市は研修を重ね実践の中から事例発表されました。大変な取組を聞き、頭が下がる思いがしました。

虐待をする親を育てたのは私たちです。広島市からの発信として今後各地域の実態を把握し、その親たちをどのようにサポートするかを考え、検討し、おせっかいおばちゃんの役割などを考え、少しでも悲しいニュースがながれないようにしていきたいと思えます。

第2分科会 「男女共同参画社会の実現」

田中 武子

テーマ：男女の個性と能力を伸ばせる地域づくり

コーディネーター：広島大学男女共同参画推進室

室長(副理事)教授 坂田桐子氏

広島大学ハラスメント相談室

教授 横山美栄子氏

私達をもっと成長するため、行政、地域女性会が密着して、女性会活動が、益々活躍する事が必要である。又、男性をどう巻き込んで、男女共同参画を広めていくかについて、夫婦や、子供と一緒に、取り組みやすい活動等を、工夫した企画が、大切であると意見が出されました。女性リーダー発掘と育成には、若い女性が参加しやすい学習会の企画、さまざまな人が役割を担当できるように、共に学習し、それを基にして地域に還元し、自然体で努力を重ねる事が大切であるなどの意見が出されました。「継続は力なり」

「心の和、人の輪を、大事にしましょう。」と加藤会長様の言葉で終わりました。



第2分科会に参加して

河内女性会 中原 裕子

「男女の個性と能力を伸ばせる地域づくり」をテーマに約50名の方が参加され開催されました。各地それぞれの実情に合わせて、行政と協力したり、勉強会等を開いたりして、活動されていました。すぐには結果が出ない事なので、試行錯誤しながら取り組まれているのが手に取るようにわかりました。女性が、もっと勉強して自分の殻を破って、自分から声をあげていく事、そして、男性の意識改革として、地域活動に参加してもらうためには、家族と共に参加できる活動を企画する等、積極的に男性を巻き込んでいかなければならないと痛感しました。

第1分科会 「循環型社会の構築・脱温暖化」

向井 春代

テーマ：日々の暮らしをどう見直すか

コーディネーター：環境カウンセラー 薦田直紀氏

「一向に減らない家庭ごみについて」

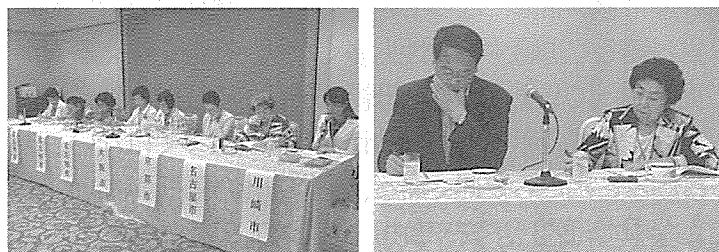
●ごみリーダー制度

ごみ減量指導員、北九州市では環境首都検定資格者の育成に取り組んでいる等。

●コラボ・パートナーシップ制度

市民と行政と事業者が一体となって取り組む。又、男性力に取り組む等。

一步踏み込んだ薦田先生の進行で、第1分科会会場は真剣な討議が交わされました。ごみ問題を絶えず発信し続け、繰り返し、繰り返す継続力、学んだことを実践してゆくのが女性会、今回の研究集会で得た結論です。



第1分科会に参加して

安西女性会 亀田 光恵

- ・地産、地消の推進
- ・段ボールコンポストで生ごみの資源化
- ・廃食用油の活用 ・石鹸 環境バザー
- ・手作りエコバックの販売 ・手打ち水大作戦
- ・廃食用油の燃料化 ・取り組んだ結果(ゴミ収集車約140台、市バス93台に使用)
- ・環境家計簿
- ・EMでの生ゴミ資源化
- ・家庭用電動生ゴミ処理機は高額で、電気の使用などデメリットも多い。男性も参加できるように声かけをする。 ・生ゴミを堆肥にすることが減少につながる。
- ・マイ箸使用も減少につながる。
- ・女性会としては各地域での学習実践活動をし、市職員等の出前講座による学習等、日々、勉強していく事。指定都市、研究集会出席の皆様はしっかり学習しておられ、広島私達も学習をし、ついて行かなくてはと考えております。